

松本深志高校(松本市)の音楽部の卒業生や在校生らでつくる「志音会」の第17回演奏会が16日午後2時から、松本市深志3のまつもと市民芸術館で開かれる。ベートーベンの「エグモント序曲」、ブラームスの「ドイツ・レクイエム(鎮魂歌)」を演奏する。指揮は横島勝人さん。(田子元気)

ドイツ・レクイエム披露へ

深志高
志音会 16日 芸術館で演奏会



練習に励む出演者たち

ドイツ・レクイエム え、オーケストラ約60人はバリトンの山下浩司 人、合唱団50人の大編さん、ソプラノの岩崎 成で挑む。全7曲、演香さんを独唱者に迎 奏時間は1時間を超え

る大曲で、新約聖書と旧約聖書からマルティン・ルターが抜粋したドイツ語の歌詞を歌い上げる。

ブラームスの母親の死をきっかけに作曲された作品で、死者のためではなく、生きる者のための慰めの音楽としての特徴がある。杉山敦会長は「昨年の能登半島地震で亡くなった人たちが残された家族への思いを込めた演奏会にしたい」と話している。

指揮の横島さんはこれまで複数回、志音会の演奏会に登壇している。一昨年の第16回演奏会ではブラームスの交響曲第2番などを指揮した。

入場料は1500円。問い合わせは杉山会長(☎090・1030・0874)へ。